

令和7年1月20日



「子どもたちの成長を願って…」

ないとうしんいちろう

稲沢北小学校長 内藤 伸一朗

早いもので、令和7年も3週間が過ぎようとしています。暦の上では大寒で、一年で最も寒い日が続きますが、日差しは力強さが増しており、少しずつ春の気配を感じます。保護者や地域の皆様には、稲沢北小学校の教育活動に対しまして、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。遅れましたが、本年も、何卒よろしく願いいたします。

さて、心配されたインフルエンザ等の感染症も、新年が明けてからは小康状態を保っています。子どもたちは、休み時間には元気に外で駆け回り、元気な様子に心が温まります。

今年は、巳年（へび年）です。始業式では、子どもたちに干支としての巳年の特徴について話をしました。蛇は脱皮をして成長していくことから、新たな挑戦や変化に柔軟に対応したり前向きになったりすること、これまで努力してきたことが実を結び始める年だといわれていること、などの話をしました。変化が激しい世の中だからこそ、前向きで希望を持つことが大切だと思いますが、まさに、巳年（へび年）は、それにふさわしい干支だといえるかもしれません。

2025年が、子どもたちにとって、日々の努力が実を結び、大きく成長し、そして、それを実感できる一年になってほしいと、心より願っています。

今後も、子どもたちの成長に関わることができる喜びを胸に、教職員一同教育活動に取り組みたいと思います。

保護者、地域の皆様におかれましては、今後とも稲沢北小学校の教育活動に対しまして、変わらぬご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

